

令和6年度芽室町議会議員研修 ② 「SOUND カード (※)」を活用した討議の実践

※ 「SOUND カード」:

特殊なカードを用いて会議の会話を促す手法。多彩な問いに対し多種多様の立場からの意見を促す効果あり。「Status (現状認識の共有)」「Outcome (ビジョンの策定)」「Understand (課題の深掘)」「Negative check (懸念事項の確認)」「Drive (具体策の決定)」の頭文字をつなげたタイトル。

■日 程 令和6年6月28日(金) 14時30分～16時30分・18時30分～20時

■場 所 芽室町役場3階委員会室

■主 催 芽室町議会

■講 師 ^{さとう あつし}佐藤 淳氏 (早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員/青森大学社会学部教授)
※講師承引実績 (H27. 29. 30. R4)

■構 成 1部/議員研修(2時間)
2部/モニター会議(1時間30分)

■対 象 議会モニター(20名)、芽室町議会議員(16名)、事務局職員(3名)

■予算額 15万円(一般会計/旅費+報償)

■目 的

「議員間討議」の新たな手法として「SOUND カード」を学ぶと共に、その手法を用いて、本町議会が抱えている課題をテーマに「議員間討議」を実践し、課題整理の方向性を明確にすることを目的とする。研修の1部は議員及び事務局職員を対象とし、2部は議会モニター会議に併せて、モニターと議員を対象とする。なお、「SOUND カード」の性格上、オンラインとリアル(会場参集)の混在は、会議進行に時間を要するため、モニターは会場参集のみ可とする。

■概 要

○1部/テーマ: 議員定数と報酬について

議長公約の一つでもあり、全国町村議会議長会が本年3月に発行した「町村議会議員のなり手不足に潜む3つの危機<町村議会議員のなり手不足検討会(委員長: 江藤俊昭委員長)>」でも指摘する緊急性の高い課題について取り組むもの

○2部/テーマ: 新嵐山スカイパークの「新たなあり方」について

討議においては、3～4人グループ(モニター・議員混合)とし、議員は同期議員を分散させてグループ編成する。討議結果は、新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会の今後の調査に際して、「町民の声」として反映する。